

事業者向け 令和3年度 放課後等デイサービス自己評価表

にこにこキッズルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			法定基準より広いスペースを確保している。 (基準40㎡:当事業所80㎡)
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		法定基準を大きく上回り配置している。 (利用者10名にスタッフ7~8名)
	3	子どもの失踪や部外者の勝手な侵入が生じないような対策をとっているか	6			出入口は暗証番号式の3重ロックで施錠し、監視モニターを配備している。定期的な番号の更新が必要。
	4	子どもにとって危険が生じないように、設備や備品等に破損や故障がないか	3	3		今年度は室内の環境整備を丁寧に行い、見通しもよくなった。おもちゃの破損確認が不十分と感ずるため、定期確認が必要。
適切な 支援の提供	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、改善につなげているか	6			今年度は第3者評価も受審し、保護者からの評価も2回いただいた。結果をもとに必要な項目について改善していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			毎年実施している。今回は多数の方に閲覧していただけるようWAMネットへの掲載を検討している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			今年度受審。2月受審のため、業務改善に繋げるまでには至っていないが、早期に着手したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		放課後連や市が開催する研修などに積極的に参加した。オンライン研修により受講機会が増加した。
	9	日々のアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			日々の記録や個別ミーティングを活用し、個別支援計画に生かしている。モニタリングも丁寧にやっている。非常勤職員も含めて記録の書き方の研修や共有化をすすめたい。
	10	保護者と半年に1回以上は面談し、個別支援計画を半年に1回は見直し・作成しているか	6			コロナ感染症対応として、面談方法は保護者の意向に基づき実施した。来所以外の面談が続いた保護者には来所面談を促し、直接お話を伺う機会をもつように心掛けた。
	11	基礎となる活動プログラムの立案(行事や月間予定など)をチームで行っているか	6			事業所会議等で定期的に行っている。多数職員が意見を出し、特色をもった活動を展開したい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		コロナ感染症対応により活動制限が生じているが、可能な限りプログラムが固定化しないよう工夫している。非常勤職員にも広くアイデアを募りたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、活動内容を工夫して提供しているか	5	1		コロナ感染症対策に留意しながら、感染状況に合わせた活動時間と活動内容で提供している。安全を最優先しているため、仕方ない点はある。

関係機関や保護者との連携や説明等	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を提供しているか	6			コロナ感染症対策と合わせ、できるだけ落ち着いて過ごせるよう、少人数活動を心がけた。工夫して、集団制作の機会をもちたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			非常勤職員への打ち合わせは、もう少し丁寧に行えるとよい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			毎日の振り返りを全体、個別と丁寧に行い、次の支援に生かすようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		日々の記録を支援やモニタリング、面談、個別支援計画への反映に役立てている。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	2		コロナ感染症対策のため、偏りが生じている。
	19	必要時、障害児相談支援事業所の担当者と連携（担当者会議や相談等）しているか	5	1		セルフプランから相談支援事業所を活用する利用者が増え、適宜連携している。
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		学校からの連絡調整の機会が少ないため、保護者様に協力を依頼し、情報共有している。
	21	学校行事の見学等、学校での子どもの様子を把握するよう努めているか		6		コロナ感染症対策として、学校公開の機会が全くなかった。機会があれば積極的に参加したい。
	22	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡をとりあっているか	2	4		今年度はじめて卒業生の就労先に文書にて引継ぎを行うことができた。今後も継続したい。
	23	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会への参加や地域の事業所との会議に出席して、情報共有に努めているか	5	1		積極的に地域作業所連絡会、児童部会、放課後連に加入し、定例会をはじめ研修などにも参加している。オンライン開催が多かったため、以前より出席頻度が増した。
	24	地域の方との交流や外出活動などを通して、障害のない子どもと活動する機会があるか		6		コロナ感染症対策のため、地域交流の機会は減少しているが、感染状況に応じてできる限り交流を継続している。出先で交流することもある。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎時、面談時、連絡帳などで連携しあっているが、複数事業所を利用している方もいるので、保護者に負担にならない範囲で行っている。帰りの送迎時、共有事項が漏れてしまうことがあるので、メールなどで確実に補完する。
	26	入会時や変更時、運営規程、活動の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			直接説明できない場合には、丁寧に内容を心掛けて文書を作成している。
	27	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		担当が偏っているので、利用者担当者制を生かせるとよい。
	28	地域行事への参加を通じ、また保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			保護者会をオンラインで開催するなど、コロナ感染症対策をしながら実施した。ふくしまつりは保護者に寄付を呼びかけるなどで継続参加した。
	29	苦情があった場合に、懇切に迅速かつ丁寧に対応し、改善策を速やかに伝えているか	5	1		苦情としては、定刻に帰宅させてほしいというものがあった。利用者により、必要時帰りの会の時間を調整していきたい。
	30	定期的に会報の発行やホームページにて、活動の様子や情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		通信は定期的な発行を心掛けた。ブログは休業を境に発信が減少している。特にコロナ感染症による休業時に活用し、サービス提供の1つとしていきたい。

	31	個人情報に十分注意しているか	5	1		書類や連絡帳の入れ間違いなどが複数回あったので、ダブルチェックを行い、個人情報の取り扱いに留意したい。
	32	地域行事への参加や事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3		コロナ感染症により直接開催がなくなったが、パラアート展やパラリンピックの聖火リレーなど、できる限り参加するよう工夫した。
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		策定しているが、定期的な見直しを実施する必要がある。次年度はBCPを策定する予定。保護者向けには内容を抜粋し、毎年周知している。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			毎月避難訓練（地震編・火災編）週間を計画し、実施するようにしている。昨年はコロナ感染症で実施を見送った引き取り訓練も実施することができた。
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			他事業所との合同研修をはじめ、法人内で、事例検討などをグループごとに行った。利用者や職員間の呼び名についても検討の機会をもち見直しを行った。
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		エピペンが必要な利用者に対し、支援者が変わっても万が一の際に迅速的確な対応ができるよう、定期的に研修機会をもつ必要がある。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			事業所会議などで定期的に共有化を行っているが、非常勤職員とのチームとしての共有化が十分でない面があるので、方法を検討する必要がある。